

NPO 五つのパンの活動へのご支援のお願い

今までのNPO 五つのパンの働きへのご理解とご支援に感謝いたします。

NPO 五つのパンは2004年6月に設立、精神障がい者のホームヘルプ事業を運営してきました。その傍らで本づくりを手掛け、美篤堂と出会い、美篤堂に手製本の技術を指導していただき、「やさしい絵本でまちづくり」をテーマに2009年9月地域活動支援センター コミュニティカフェ マローンおばさんの部屋を設立いたしました。行政の方から子育てに悩むお母さん方が集えるよう駅の近くにカフェを設立してほしいと要望されたいきさつもあり、カフェには絵本を置き、内装、メニューにもたえず工夫し、現在カフェは子育て世代の主婦で賑わっています。マローンおばさんの部屋は障害によって働くことが困難な障がい者の日中の活動をサポートする福祉施設であり、横浜市からの補助金で運営されています。

一方、2011年3月の大震災をきっかけとして、地域の高齢者の存在を知ることとなり、2012年1月に高齢者の技を若い世代に継承することを目的に、ものづくり多世代交流カフェいのちの木を設立し、現在に至っております。こちらはNPO五つのパンの自主運営となっております。

マローンおばさんの部屋は、福祉制度による運営であり、いのちの木は福祉制度によらないNPO五つのパンの自主運営として、対象的な二つの拠点が出来上がりました。



マローンおばさんの部屋（制度による福祉）



いのちの木（新しい福祉を模索）

いのちの木は設立に当たり横浜市より開設の為の補助金をいただくことができました。その後の継続運営についても、補助金等の可能性を模索しましたが、縦割り行政のなかで、世代間を横に（おばあちゃんから孫に）つなげてゆくような事業を補助の対象とする法律や制度がなく、いのちの木の維持のために、NPO五つのパンクリスチャンワークステーションの介護収入を基盤とし、いのちの木のカフェ運営収入を元に、福祉的活動を推進してきました。この一連の歩みを通して**少子高齢化で税収が伸び悩み、福祉予算が福祉ニーズの拡大に対応しきれない状況**であることを知りました。

いのちの木に集われる人々は、孤独な高齢者をはじめ、居場所が見つからない障がい者、生活に困難を抱える若者、発達障がい故に生きづらさを抱える若者、障がい故に将来に不安を抱える子どもたちとその親、社会に馴染めずにひきこもりがちな主婦、離婚の危機にある夫婦などが集われ、スタッフが日々これらの方々の話しを傾聴しています。このように、いのちの木では、福祉予算による制度の中では対応しきれない人々の叫びを聞く日々となっております。

現在は、ミシンの音のするカフェが定着し、ミシンのワークショップを中心に、編み物サークルや、

手製本の老舗美篤堂さんと連携した本づくり学校を開設することが出来ました。

いずれも、高齢者や職人の技を次の世代に継承して生活の糧としたり、それぞれの役割の中で新しい創造や新しい市場づくりを目指して来ました。



編み物サークル



ミシンワークショップ



本づくり学校（製本）



本づくり学校（活版印刷）

これらの試みのひとつひとつに横浜市政策局の方々が注目してくださり、五つのパンのこれまでの歩みを横浜市が発行する調査季報171号に取り上げていただきました。

そして、一年半前から横浜市政策局を中心に、企業、市議会議員、中間的NPO、職人、牧師（NPO理事長）、岩永が加わり、様々な観点から話し合いを積み重ねて来ました。この一連の話し合いの中から、税金による福祉に頼らずに、**市民が市民を支える新しい福祉の仕組み**を模索してきました。

LOCAL GOOD YOKOHAMA (市民が市民を支える新しい福祉の仕組み)

今年の6月にはローカルグッドヨコハマという骨格が出来上がり、9月からの本格的な運用にむけて、仕組みづくりが急ピッチで行われています。7月下旬からは、ローカルグッドつづき版を作るために、いのちの木の事例を参考にいただき、横浜市政策局を中心に、大学関係者、市議会議員、地域NPO、牧師（NPO理事長）、岩永が話し合いをスタートします。これが、五つのパンが目指して来た目標点のひとつだと思います。

新しい福祉の試みの場としての、いのちの木の福祉事業（編み物サークル、ミシンワークショップ）は非営利の地域住民支援事業、本づくり学校は非営利の技術継承事業であり、長期離職者の授業料支援、プログラム内容や



メンタルサポートの充実や継続のために皆様のご支援が無くてはならないものとなっております。

NPO スタッフとその家族の犠牲などありましたが、教会の祈りと皆様のご支援をいただき、ここまで生かされ、働きが祝福されて来ました。あと少し、皆様のお祈りとお支えをいただければと思います。

2014年度寄付目標金額

1. いのちの木編み物サークル、ミシンワークショップ支援	計80万円
内訳 家賃按分の半額補助	60万円
有償ボランティアスタッフ費用	20万円
2. 本づくり学校	計42万円
内訳 家賃按分補助（1万円×12月）	12万円
長期離職者学費補助（2名分）	18万円
本づくりカフェ運営資金（障がい者が実際に働くために）	12万円
	合計122万円

期待される効果

1. 編み物サークル
呼び寄せ高齢者（子ども夫婦を頼り地方から都会へ移り住む）の社会的役割の創造
世代間交流による、生きづらさを抱える人々の役割の創造
2. ミシンワークショップ
スタッフがものづくりを通して傾聴し、心の重荷を降ろす場としての効果と安心の創造
3. 本づくり学校
長期離職者の就労へのプログラム
4. 本づくりカフェ
長期離職者の社会参加と実労働現場での実践 新しい市場の創造
5. 新しい福祉のあかしの場としての確立と各方面への広がり

寄付金振込先

郵便振り込み用紙（郵便局備え付けのものも可）の通信欄に「寄付」と明記していただき、寄付金額、お名前、ご住所、電話番号をご記入の上お近くの郵便局にて、下記郵便振替先にお振り込みをお願いいたします。

ゆうちょ銀行

口座記号 00280-0 口座番号 59745

名義 特定非営利活動法人 五つのパン （トクヒ）イツツノパン）

他金融機関からの振込の場合

店名 ○ニ九 （読み ゼロニキュウ）

店番 029 預金種目 当座預金 口座番号 0059745

名義 特定非営利活動法人 五つのパン (トクヒ) イツツノパン)

2014年7月

特定非営利活動法人 五つのパン

理事長 鹿毛独歩 理事 岩永敏朗

<事務局連絡先>

〒224-0041 横浜市都筑区仲町台1-32-21

アルス仲町台せせらぎ公園壱番館102号室

特定非営利活動法人 五つのパン

TEL 045-947-1778 または 045-945-2223(いのちの木)

FAX 045-947-1779

Mail ID five-breads@nifty.com

Home page <http://www.five-breads.com/>